



■Tackle Guide
 タックルや仕掛けはヒラメ用で流用できるが、根周りを流すので捨てる糸は長めがおすすめ。根掛かりに備えて仕掛けやオモリは多めに用意しよう。



▲根掛かりに気を付けながら底から1メートル前後を探っていく

左ミヨシの荒平さんが40センチのマハタを掛け、海面に浮上したところを素早く船長がスパッとタモ取りする。その20分後には再び右舷トモの畑山さんが38センチのマハタを釣り上げた。船長も頻りにポイント移動をしてくれるが、潮があまり流れないのでアタリは少ない。9時になってようやく竿を曲げたのは荒平さんで、42センチのマハタを釣り上げる。そしてそのときは突然訪れた私の置き竿が折れんばかりに激しくたたかれる。あわててタックルを手に取り合わせを入れようとしたのだが、強

烈な引き込みで竿が立たない。そうこうしているとガチャッとした硬い感触が手に伝わってきた。「しまった。根に潜られた！」ここで無理に引くとハリスが根に擦れて切れてしまうと思いつくようにテンションを緩めたが、時すでに遅くプツッと痛恨のハリス切れ。その一部始終を操舵室から見ていた船長が、「あー。間違いなくかなり大



▲大原沖のマハタは冬場の有望株

旬の沖釣りをエンジョイ!

今がチャンス!
 これから楽しみ!

釣りどきレポ

Best Season Report

皆さん初釣りは行きましたか?
 例年1月後半は一年で最も冷え込む時期ですが、海の魚やイカたちは元気いっぱい!
 冬ならではのさまざまな釣り物が好調ですよ。

▼1~1.5キロ級がアベレージ



寒さ厳しいこの季節は、湯気が立ち登る鍋料理が恋しくなる。鍋料理は各種あるが、釣り人特権の鍋料理の一つがマハタの鍋。マハタは湯豆腐の具材としてもおすすめで、皮目のあのゼラチン質のプリプリとした食感は絶品だ。

この勢いで竹内さんが40センチのマハタを釣、さらに竹内さんと荒平さんはアカハタも釣り上げた。すると右ミヨシの佐藤さん

物のマハタだったのに。取ってもらいたかったなあ」とボツリ。マハタはタックルを手持ちで釣るのが原則だが、撮影のために置き竿にしていたのが運の尽き。合わせの動作が一手も二手も遅れてしまったのだ。

「今日はこれまでかしら」と思ったところで右舷トモ2番の小沢さんが魚信をとらえた。「これで全員マハタをゲットだな」と海面を見つめていると、浮かび上がったのはアカヤガラ。

●船宿information

外房大原港
春日丸
 ☎0470-62-0606
 (詳細は巻末の情報欄参照)
 ▶料金=ハタ&ヒラメ乗合一人1万2000円(エサ、氷付き)
 ▶備考=予約乗合、出船時間電話確認。ほかフグ、ヒラメ、一つテンヤも出船



中井 衛船長

「今日はおう諦めていたのによかったです」と小沢さんが安堵の表情を浮かべたところで沖揚がりの時間を迎えた。潮具合なのか当日はヒラメは釣れなかったものの、今後イワシの群れがくれば大型のヒラメも釣れるだろうと船長

りギョングンと抵抗し、穂先が海面に突き刺さる。「竿を立てて慌てずにゆっくと巻いて」と船長が声をかけ、ヤリトリの末に海面を割ったのは本日最大2.2キロのマハタだった。「今日はもう諦めていたのによかったです」と小沢さんが安堵の表情を浮かべたところで沖揚がりの時間を迎えた。潮具合なのか当日はヒラメは釣れなかったものの、今後イワシの群れがくれば大型のヒラメも釣れるだろうと船長

12月17日、今が旬のマハタを狙いに外房大原港の春日丸へと出かけた。春日丸では現在ヒラメ乗合とマハタ&ヒラメ乗合で出船しているが、マハタ&ヒラメ乗合はハタを釣った後にポイントを移動してヒラメを狙うというリレー方式ではなく、岩礁帯をエンジン流しでマハタやヒラメを同時に釣るというスタイルだ。5時20分、私を含めて6名で出船。30分ほど走ってポイント

「根のあるところを流します」ので、一にも二にもこまめに底タチを取ることでですね。その動作が誘いにもなりますから」とのこと。開始早々に右舷トモの畑山さんが魚信をとらえた。魚の引きを楽しみながらゆっくりに巻き上げ40センチのマハタを

釣り上げる。皆さんも後に続けと気合を入れたのだが、マハタからのアタリはしばらく訪れず、次にヒットしたのは50分後。

知得! 移動の際の注意点
 Tips and Tricks
 生きのよいエサほどマハタに対してアピール度が高いので、エサ付けは素早く行うのが鉄則だが、気を付けたいのは船の移動時。無造作にタルに入れたままだとホースに絡んだり、ヒラメなどの下敷きになったりして弱ってしまう。移動の際はホースを抜き、ハリスを手を持って軽くテンションをかけておくとよい。

▼ハリを打ったイワシエサのケアもお忘れなく

冬の人気魚を一挙両得!
 大原沖のマハタ&ヒラメ

●外房大原港発↓大原沖
 本誌APC(東京)鈴木良和 Yoshitaka Suzuki